



旭中通信

練馬区立旭丘中学校
学校通信 9月号
令和元年9月2日発行

各自が「継続は力なり」を实践

校長 渡邊 重幸

1 学期終業式のあいさつで、私の好きな言葉に「継続は力なり」があることを生徒に伝えました。文字通り、どんなことでも継続して努力すれば力となり結果として表れるということです。生徒はこの夏休み中にいろいろなところで努力し活躍していました。

7月31日(水)、練馬文化センター(大ホール)で第59回東京都中学校吹奏楽コンクールがありました。連日、吹奏楽部は金賞目指して練習を行いました。体育館での全体リハーサルでは、暑い中、保護者の方もたくさんお出でいただき、サポートしていただきました。練習の成果を十分に発揮し満足のいく演奏でしたが、結果は惜しくも銀賞でした。

8月2日(金)から5日(月)まで1年生は岩井に臨海学校に行ってきました。練馬区の臨海学校は昭和41年(中学校21校)から実施されています。下田学園を宿舎とし当時から3泊4日でスタートし、磯遊びや爪木崎の散策など色々なスタイルの臨海学校が行われました。外浦海岸では、体育部の先生方が中心となり、最終日に遠泳完泳を目指した臨海学校も行われたのです。昭和49年には、臨海学校実施中に伊豆半島沖でM7.4の地震が発生したり、昭和51年には、下田沖でタンカーが座礁し重油が大量に流失したため、臨海学校は2度中止になりました。その後、学校数や生徒数も増え、下田だけでの実施が困難なため、昭和60年には、新たに千葉県岩井に少年自然の家が開設されました。昭和62年には光二中、昭和63年には光三中が新たに加わり、下田と岩井で各17校ずつ、計34校で臨海学校を実施し、今に引き継がれています。このように、50年間途絶えることなく続いているということは、活動に意義があり、ぜひ続けていく必要があると考えられているからです。

3日目の大遠泳当日、生徒は練習の成果を遺憾なく発揮しました。生徒の声は私の「エーンヤコーラ」の掛け声よりも数十倍も大きく、そして美しい響きとなって浜辺で待つ先生や他校生に届きました。指導員の班長さんをはじめ、コアラ体育サービスさん、ビーチクラブ全国ネットワークさんのおかげで、全員が無事泳ぎ切ることができました。生徒同士が声を掛け合い、力を合わせ完泳できたときの生徒の顔は達成感に満ち溢れていました。プールでの練習から始まり、海での遠泳練習を通して「継続は力なり」を実感したのではないかと思います。

部活動も2年生が中心となり、暑い夏を吹き飛ばすように各自が元気に活動していました。特にバドミントン部では「ねりま遊遊スクール」を行い、初めてバドミントンに挑戦する小学生約20名に丁寧に指導していました。(次回は9月7日に開催予定)

3年生は夏季休業中に三者面談を行い、自分の進路選択を真剣に考え、希望に向かって計画的に学習に取り組んでいたと思います。2学期からの授業へ取り組む姿がとても楽しみです。

＜臨海学校（1年）＞

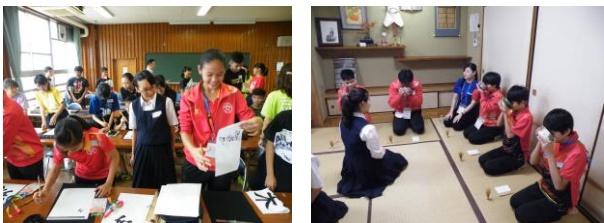


＜部活動＞



【2019 ヴェニアポーツ交流大会（文化交流事業）】

日時 8月28日（水）
 場所 旭丘中学校
 本校参加都市 ハノイ（ベトナム）・シンガポール
 バドミントン、卓球選手 計25名
 内容 海外の選手団を対象とした中学生による
 日本文化紹介等を通じた交流プログラム
 吹奏楽部の歓迎演奏、歓迎セレモニーが行われ
 ました。そして、書道を体験したり生徒会による
 学校紹介が行われました。その後、バドミントン
 選手はバドミントン部と交流試合を行い、卓球の
 選手は茶道体験・校内巡り等を行いました。



【オリンピック・パラリンピック講演会】

日時 9月27日（金）13時30分～
 場所 旭丘中学校 体育館
 講師 ヨーコ ゼッターランド 先生
 講師紹介
 1992年バルセロナ五輪 銅メダリスト
 演題
 「不可能を可能に～スポーツから学んだこと～」
 内容
 13時30分 講話(全校生徒対象)
 14時30分 実技指導(第3学年)

お時間ございましたら、ぜひおいでください。
 地域の皆様は事前に
 電話連絡をお願いします。
 <連絡先>
 3957-3133
 副校長まで

